

アクティブ公民 一人暮らしにはお金がいくらかかる？(教科書p. 130～131)

年 組 番

TRY1

①上のAさん、Bさん、Cさんはそれぞれはるの市、なつもり市、あきやま市のうち、どの市に住んでいるのかを、3人の選択の理由に照らして考えてみよう。

Aさん	Bさん	Cさん
市	市	市

②あなたならどの市に住みたいか、理由とともに考えてみよう。(部屋の広さはどの市も同じとする。)

③<対話>②の選択について、周りの人と意見交換を行い、重視した基準を比べてみよう。

TRY2

①A～Gのそれぞれの項目について、あなたの考えに最も近い費用の額を選択肢から選んで、下の表の右端の列に○を記入しよう。

A 住居費(家賃)	あきやま市に住む	8万円	
	はるの市に住む	6万円	
	なつもり市に住む	4万円	
B 食料費	外食がほとんど	5万円	
	外食は半分くらい	3.5万円	
	すべて自炊する	2万円	
C 交通費	自動車を保有する	5万円	
	定期券の範囲外への移動が多い	1.5万円	
	定期券の範囲外への移動は少ない	0.5万円	

D 娯楽費	娯楽へのお金は惜しまない	3万円	
	娯楽にかけるお金はほどほど	1.5万円	
	娯楽にかけるお金は少なめ	0.5万円	
E 被服費	ブランド物を買う	5万円	
	新しい商品をよく買う	3万円	
	新しい商品はあまり買わない	1万円	
F 通信費	インターネットを頻繁に使う	1万円	
	インターネットを適度に使う	0.5万円	
	インターネットは使わない	0円	
G 教養費	複数の習い事に通いたい	3万円	
	一つは習い事をしたい	1万円	
	習い事は不要	0円	
H そのほか	電気代や医療費など	1.5万円	

②下の◎の式を用いて、1か月あたりの貯蓄額(差額)を計算しよう。計算結果がマイナスになった場合は、プラスになるように①を修正しよう。

◎手もとにあるお金 16万円－費用の合計【 】万円＝貯蓄額(差額)【 】万円
--

③<対話>この先も一人暮らしを続けていく場合、消費と貯蓄のバランスをどのようにとっていけばよいか、希少性の見方・考え方を働かせながら周りの人と意見交換をしてみよう。

--

振り返り

◎…よくできた ○…できた △…あまりできなかった

<p>私たちは日々の生活のなかで、限られた資源をどのように使うか選択していることを理解することができた。</p> <p style="text-align: right;">(◎ ○ △)</p>
<p>希少性の見方・考え方を働かせて、一人暮らしの例におけるお金の使い方について、計画を立てることができた。</p> <p style="text-align: right;">(◎ ○ △)</p>